

アメリカン・グラフィティ (American Graffiti)

観賞日 2026 年 1 月 26 日 上映時間 110 分

【概要】

制作 1973 年 アメリカ

監督 ジョージ・ルーカス

脚本 ジョージ・ルーカス、グロリア・カッツ

ウィラード・ハイク

撮影 ハクセル・ウェクスラー他

出演 リチャード・ドレイファス (カート・ヘンダーソン)

ロン・ハワード (スティーヴ・ボランダー)、ポール・ル・マット (ジョン・ミルナー)

チャールズ・マーティン・スミス (テリー・フィールズ)



【あらすじ】

1962 年夏、カリフォルニア州の田舎町。高校を卒えた 18 歳の仲良し 4 人組の男子。カートとスティーヴは東部の大学に進学、テリーとジョンは地元に残ることに。道はそれぞれ違うが 4 人は夏休み最後の夜を過ごしていた。カートはこの期に及んでまだ大学に行くべきか決断できずに悩んでいた。車で偶然見かけた金髪美人を探すうちに、ゴロツキ仲間のファラオ団に捕まり彼らのお先棒を担がされることに。生徒会長だったスティーヴはカートの妹のローリーと付き合っていたが仲違いしてしまう。しかし、最後はローリーに負けて夢をあきらめ、地元に残ることに。テリーは拾った娘デビーとドライブ。車を盗まれたり飲めない酒を飲んで大変なことに。ジョンは 13 歳のおませな娘キャロルの面倒をみる羽目になるが、最後はライバルのボブとのカー・レースに勝利する。

全編を通じて流れるオールディーズのメロディに乗せて突っ走る 4 人のワンナイト。

ジョージ・ルーカスが描く自伝的青春群像劇。いざ出発の刻。

【解説】

■ポイント

●1962 年のアメリカ

- ・1950 年代：第 2 次世界大戦で唯一の戦勝国といわれたアメリカは 1950 年代に絶頂期を迎え、平和と繁栄の黄金時代を謳歌した。
- ・1960 年代：ベトナム戦争への参戦 (61 年) と深入り、ケネディ暗殺 (63 年)、ベトナム反戦運動と公民権運動の盛り上がりによりアメリカ社会は分裂、カウンターカルチャーが流行した。
- ・1962 年はその狭間に当たる年でアメリカが最後の輝きを放ったころ

●監督ジョージ・ルーカス (1944 年、カリフォルニア州生まれ)

- ・本作はルーカスの自伝的作品であり出世作となったもの
- ・「スター・ウォーズ」シリーズ、「インディ・ジョーンズ」シリーズの製作
- ・S・スピルバーグ、F・F・ Coppola と親しく、黒澤明をリスペクト

本作：監督 ルーカス、製作 Coppola

インディ・ジョーンズ：監督 スピルバーグ、製作：ルーカス

■見どころ

- 日本の若者が憧れた元気だった時代のアメリカ
- 当時を彷彿させる、懐かしいオールディーズの名曲
- ハリソン・フォードが敵役で出演